

know

Do you 農 JA?

「Do you 農 JA ?」は、対談や交流を通して生産者とJA 営農担当職員の繋がりを紹介する県下統一広報企画です。JA羽茂では、羽茂果実協会の若林協会長と営農課の渡辺次長が「ほおけさ柿の将来の展望と、営農に期待すること」をテーマに対談を行った様子を紹介します。



生産者紹介

羽茂果実協会会長
寺田地区

若林 直樹さん
(66)

柿45a・ル レクチ
工10a・水稻20a
を栽培。

営農担当職員紹介

JA羽茂
営農課 次長
渡辺 昌彦
(44)

生産資材係・水稻
担当を経て、H15
年より柿担当。

営農課での取り組みについて

渡辺 営農課では、持続可能な地域農業の振興に向けて、「高値で売れる環境づくり」と「安定収量の確保」を目標にして取り組んでいます。高値販売については、他産地の商品に影響されずに販売してくれる店舗を確保するために、今年北海道や東京で試食販売を行いました。今後も拡大していきたいと思いますが、収量については、今年平均1.6t/10aの出荷でしたが、2t/10aに近づける目標を立て、量を取ることによって生産者の収入を増やしたいと思っています。

また、労働力の確保ということ今年「無料職業紹介所」を開設して、柿の収穫作業で2名の紹介ができました。課題はありますが、周知して強化していく予定です。

担い手の確保

若林 一番の問題はなんといっても担い手だ。市場に出荷して評価を得るには、量が大事だ。後継者の確保と反収アップと販売が問題だな。もうかれは後継者は残るが、柿だけの収益で生計を立てるのはなかなか難しい。佐渡の職場の給料も厳しいものがあるが、働き

に出る若い人がいて補完的に農作業の労働力になってもらい、トータルで家内の収益を確保する。精神的にも経済的にも豊かな生活ができて、1つ目指すところだと思ふ。

高齢の農家には、まだまだ生きがいを持って頑張ってもらいたい。そのためには、病害虫防除がやれない、コンテナが重くて持てないという問題を、集落の若い人達で補完してあげないといけない。若い人達に経営が成り立つシミュレーションを農協として示して、きめ細やかな経営指導や技術指導をやる必要がある。

■ バッテン果対策

若林 高齢になって植え替えてできないと言うが、バッテン果が原因でやめるという事になってはだめ。



出なければ販売額が1億円違うかもしれない、まだまだ収益の伸び代がある。バッテン果の原因を見定めて、植え替

えたり高接ぎしたり。これからおけさ柿は何十年も続くのだから、今からでも遅くない。早い解決をしていかなければと思う。

■ はおけさ柿のファンづくり

若林 毎年食べてくれるお客さんを確保していくためには、はのファンを増やしていくことだ。いつ食べても美味い、売る人はいつでも安心して売れるという事だと思う。品質管理をしっかりやって、あとはファンを増やすためのアピールが大事だ。今年、新しい仲卸さんやバイヤーさんが来てくれたのは非常にいいことだ。

渡辺 今年来てくれたスーパーのバイヤーさんが、気に入ってくれたのかずつといい値段で売ってくれたたね。無印をずっとキロ300円で売ってくれる市場もあって、生産者の想いが伝わったのかなと。

若林 本場にそう思う。実際に羽茂の現場で、畑や生産者の顔を見て、頑張っていることがわかってもらえれば、気合を入れて売ってくれると思う。これからも継続してほしい。

■ 畑を守る

若林 圃場調査に回って思ったの



は、一生懸命頑張っても実績を上げられない人がいるということ。急傾斜の日陰で頑張って作っているが、一方でいい畑が荒れていっている。畑を守っていくという事が必要だ。やる人と、預かってみようという人の仲人役が農協でできないか。この間、静岡の三ヶ日町農協に行った

が、みかん担当の営農指導員が7人いて、担当地区をこまめに歩いていく。この取り組みで、もっと畑を欲しいという人が増えているという。ブランド力があつて、単価が上がれば収入が増える、収入が増えれば後継者も残る、という訳だから。羽茂でも何か知恵を絞ってほしい。一生懸命頑張っているも反収が上がらない農家が気の毒だ。だから、足繁く農家に足を運んでいくことで、畑を減らさないで行けるのかなと思う。

■ 収益を増やす果実生産

若林 収入が増える玉サイズのシ

ミュレーションがあると思うが、L中心で2t位取れると利益が上がる。

渡辺 大きくても2L止まり位になればと思います。

若林 羽茂では樹勢の強弱が目立つようになった。肥培管理など細やかな技術指導が必要になってきている。

渡辺 温暖化もあって大きくなりやすい気候になったんでしょね、2L、3L中心になってしまったのは問題がありますね。やっぱり品質が悪くなるというのが。

若林 よくわかる。無理した栽培になるというのは。どうしても後期肥大になって、色がつきにくいし、黒変になる。

渡辺 そうですね。どのバランスがいいかは計算で出している。

若林 そういうのも指導会に盛り込んでほしい。

渡辺 今年の単価でも2Lか、もしかするとLの方が安定しているかもしれないですね。

若林 L中心にして、2Lが2〜3割、Mも2〜3割。Lが6割占める位にして。

渡辺 Mが2〜3割必要で、そうしないと2Lが高く売れない。経費も含めてのシミュレーションも進めていきたいと思えます。